

学生担当者報 1

発行/天理教学生担当委員会 発行責任者/茶谷 良佐 編集責任者/辻 雄二郎

TEL 0743-63-1511(内線 5817) 直通:0743-63-2489 FAX 0743-62-5780
E-mail tsa@tenrikyo.or.jp TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp

Vol. 419
立教 184 年
2021 年
12 月 25 日発行

お知らせ

一月例会

- ・期日 立教 185 年 1 月 25 日
- ・時間 15 時 30 分受付 16 時開始
- ・場所 教庁 4 階講堂

報告

十一月例会

去る 11 月 25 日、教庁 4 階講堂において「11 月例会」を開催。出席は 25 教区、66 直属。

各地の動き

【直属学生層育成者講習会】

・嶽東 11 月 20 日 大教会

・中山祥吉委員出向 189 名

・西海 11 月 22 日 大教会

・入江ゆき委員出向 60 名

人事

〈立教 184 年 11 月 25 日付〉

【直属学生担当委員長辞令交付】

・南 清則 (治道・上本町)

業務記録

〈立教 184 年 11 月 16 日～12 月 15 日〉

- 11 月 18 日 事務局連絡会
- 21 日 研修会チーム会議
- 23 日 育成に役立つ研修会係員コース 直前研修会
- 24 日 担当者活動部部会 編集部部会
- 25 日 育成に役立つ研修会係員コース 委員会 例会
- 26 日 育成に役立つ研修会直前研修会 担当者活動部育成ミニ勉強会
- 27 日 育成に役立つ研修会
- 28 日 育成に役立つ研修会
- 12 月 2 日 勉強会チーム会議
- 8 日 担当者活動部部会 研修会チーム会議
- 11 日 学修部部会 人材育成部部会 新刊本会議
- 12 日 学修高校の部研究室 学修大学の部研究室

「人の話をきく時の心掛け」



数年前、「布教の家」青森寮に入寮したばかりの私は、訛りや方言に悩んでいました。ある会社が独自に調べた「方言が難解すぎる都道府県ランキング」でも 1 位になるほどで、その単語からは想像できない意味であることが多いのも青森の方言の特徴です。

ある日、戸別訪問で伺ったお宅にて、応対してくださったお婆さんが笑顔で一言。「私ね、この前あったの！」さて、あたったとは一体どういう意味でしょうか。私の周りであたったと言え、何かに当選した、または食あたりになつた時に使うくらいです。普段、分からない言葉は本人に意味を尋ねるのですが、その時はついつい笑顔で話されているのだから、これは何か良い物が当たったのだろ

うと思ひ「それは良かったですね。おめでとうございませう」と返してしまいました。結果、激しく怒られ、家を追い出されました。それから何度足を運んでも会ってほもらえませんでした。後ほど知ったのですが「あたった」とは脳梗塞等で倒れたという意味でした。それを、おめでとうと言われれば当然ですよ。

理由が分かると、なぜいつもと同じく本人に尋ねなかったのか、と思うと同時に、言葉以外の部分で気付けることがあったのではないかと、という思いが生まれました。思い返すと、ご自宅の扉を開けられた時、動きが不自然であったり、「あたった」と言われた時に若干笑顔が曇ったりしていたように思います。私は、ただ「笑顔で言われた」ということで、深

13 日 委員会

編集部部会

学生部部会

春の学生おぢばがえり

プロジェクトチーム会議

「まなびば」会場一覧 《1 月開催分》

教区	開催日時	
	鳥取	1 月 10 日
場所	担当者	連絡先
教務支庁	本多正悟	090-4102-5373

庶務会計部兼人材育成部 委員

高井 義誠

く考えずに良いことだと思ひ込んでしまいました。しかし、お婆さんの本心は別だったのでしよう。言葉だけに囚われず、五感を総動員してお話ししていればきっと気付けたことだったと思ひます。そのことがあつてから、人の話を聞くときは言葉以外の部分も注目するようになり、結果として訛りや方言からくる悩みを解決する糸口になりました。言葉以外の部分にも注視するというのは、学生と関わる上でも大切なことだと思います。年々年齢差が開く中で、お互いに本音で話せないこともあると思ひます。しかし、言葉以外の部分に隠れた本音・本心がみえてくることがあります。その瞬間を見逃さないようにしていきたいと思ひます。

令和 4 年 学生担当委員会 活動方針 1 月 25 日例会にて発表

第五十九期「天理教学生会委員長選挙」結果報告

十一月二十日、教庁四階講堂を会場に第五十九期天理教学生会委員長選挙が行われ、運営委員 19 名が出席し、傍聴者 14 名が訪れました。今回は、新型コロナウイルス感染症対策として、手指のアルコール消毒や検温の実施等がなされました。



はじめに、立候補者である大岩恵奈さん（天理大学二回生・熊本大教会・長崎教区）は所信表明において「学生会の仲間がお互いに手を取り、支え合う心をもって、『ありがとう』を伝え合うことができる素敵な学生会を作っていきたい。そして、『ありがとう』と感謝している姿を通して、親神様・教祖にお喜びいただきたい。」と、第五十九期天理教学生会にかける思いを述べました。その後、運営委員による活発な質疑応答が行われ、学生たちは立候補者の答弁に真剣に耳を傾けました。

投票の結果、大岩さんが次期委員長として信任され、参加者一同は次期委員長を志し、来春から始まる第五十九期天理教学生会の一層の充実を誓いました。

青空

「どうせやるなら楽しまなくちゃ」これは私がご用などをさせていただく際にいつも心に置いていた言葉です。ご用をありがたうとお受けした際も本当にできるのだろうかと思案することもあります。しかしやると決まった以上は喜び、楽しむことが大切だと思い、その楽しんでる姿を見て神様にも喜んでいただけるのではないかと感じていました。

学生さんと接する中でも何事にも喜んで前向きに通っている姿は大きな影響を与えるのではないかと感じていました。以前、出会わせてもらった学生さんもさまざまなことに悩んでいる中でしたが、楽しんでる姿を見て、どうせやるなら楽しんで方が得だと感じてくれ、それからは毎日楽しいです！と言ってくれる学生さんもありました。

今、本当に環境が大きく変わる状況が続いている最中ではありますが、こんな状況だからこそ前向きに楽しむことが大切なのではないかと改めて感じる日々です。今年もいい年になることを願って「どうせやるなら楽しまなくちゃ！」。

人材育成部本部スタッフ 茶木谷与和

立教百八十四年「育成に役立つ研修会」開催報告

十一月二十七日、二十八日の二日間で、本部第七・八・九母屋を会場に「育成に役立つ研修会」を開催し、五十七名の方に受講をいただきました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響からやむなく中止となりましたが、今年は定員の縮小や合宿をせずに詰所などからの参加といった感染症対策を実施し、無事開催することができました。

前回（一昨年）からコース内容を一部改め、プログラム体験コース、トレーナーコース、プログラミングコース、育成者支援コースの四つのコースを設け、それぞれのねらいに沿った内容でプログラムを進めました。

プログラム体験コースでは、学生層育成行事で使用しているプログラムを実際に体験することでその有効性を感じ、「グループワークについて」の講義からその心得を学びました。

次にトレーナーコースでは、トレーナーの実体験から各種育成行事で使用しているグループワークへの理解を深め、その進め方の習得と「トレーナーの心得」の講義を聞きました。

そして、プログラミングコースでは、各種育成行事の企画、立案、プログラムの作成についてを解説を交えた実習形式で学び、「プログラミングについて」などの講義を聞き、行事の企画・開催に対する意識を高めました。

最後に育成者支援コースでは、「現代の若者の特徴について」などの講義から育成者としての心得に気づき、また組織的なものに限らず、いち育成者として自分にどんなことができるかを受講者同士で考え、共有しました。

限られた時間の中ではありましたが、各コースとも体験的に理解を深める充実した研修会となりました。

明日につながる 学生WEBSITE Happist

<https://happist.net>

- お道の教えや心にグッとくるお話をご紹介します
- おぢばの行事情報や各地の学生会情報も充実
- 「Happistスマイル」では学生の笑顔をお届け



QRコード読み取り

毎月25日発行。例会資料としてお配りしています。
部数のご変更は学生担当委員会事務局編集部まで。

学生に手渡しできるリーフレット
HAPPIST [NOT] NET
ハピピスト ネット